

2025年8月13日

各位

会社名 株式会社 Laboro. AI  
代表者名 代表取締役 CEO 椎橋 徹夫  
(コード番号: 5586 東証グロース市場)  
問合せ先 代表取締役 COO 兼 CTO 藤原 弘将  
(TEL 03-6280-6564)

### 連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2025年9月期第3四半期より連結決算に移行いたしますので、2025年9月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結決算開始について

当社は、2025年3月17日に公表した「株式会社 CAGLA の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」のとおり、2025年4月1日付で株式会社 CAGLA の株式を100%取得いたしました。これに伴い、2025年9月期第3四半期より、株式会社 CAGLA を連結子会社とする連結決算を開始いたします。あわせて、2024年11月12日に開示いたしましたカスタム AI ソリューション事業（Laboro. AI）の個別業績予想につきまして修正（取り下げ）いたします。

#### 2. 2025年9月期 連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 1,934	百万円 211	百万円 197	百万円 114	円 銭 7.22

（注）2024年9月期は連結決算を行っていないため、対前年増減率は記載していません。

#### 3. 連結業績予想の概要

当社の2025年9月期第3四半期の累計実績と現時点において見込まれる7月から9月の第4四半期の業績予想に、連結対象となる株式会社 CAGLA の2025年4月から6月の3か月分の業績実績及び7月から9月の3か月分の業績予想を織り込んだ数値であります。

また、株式会社 CAGLA の株式取得に伴うのれんの金額は63百万円発生しております。のれん償却に関しては、償却期間は8年として償却額を計上しております。

売上高の見込につきましては、その主要な構成はカスタム AI ソリューション事業（Laboro. AI）によるものとなっております。第3四半期については、ソリューションデザイナーの体制構築の遅れに伴う営業リソースの制約から、一部案件の失注や開始時期の第4四半期以降への後ろ倒れが発生したことに伴い、第3四半期の売上が期初のカスタム AI ソリューション事業の単体見込より約20%程度下振れて進捗をいたしました。第4四半期は現段階で確定した案件が積み上がっており、現段階で第3四半期の累計売上と確定済の受注残の合計で、上記の2025年9月期通期連結業績予想の売上高の約98%にあたってお

り、順調な進捗を示しております。一方で、第4四半期の売上高が、第3四半期の売上の下振れ分をカバーできない見込から、2025年9月期のカスタムAIソリューション事業の期初単体の着地見込から下振れて着地することを見込んでおります。また、システム開発事業（CAGLA）については、各プロジェクトが顧客への検収が完了したタイミングで収益認識をする形で収益計上を行っております。7月から9月に検収を見込むプロジェクトの受注が少なく、第4四半期の収益貢献は限定的であると見込んでおります。

営業利益の見込は、各事業の売上原価、販売管理費を反映しております。カスタムAIソリューション事業においては、営業利益は期初の事業単体の見込を約10%程度上回る形での着地を見込んでおります。一方で、システム開発事業は、7月から9月の売上高の貢献が限定的であり、人件費等のコストが先行することを想定しております。加えて、株式会社CAGLAのM&Aに伴う取得関連費用として37百万円を反映しております。

経常利益の見込は、各事業の営業外収益、営業外費用を反映しております。期初のカスタムAIソリューション事業の単体見込からの下振れの要因は、上記により営業利益が縮減したこと及び、営業外費用として主に持分法適用関連会社であるX-AI.Labo 株式会社に係る持分法による投資損失を計上しているためです。

親会社株主に帰属する当期純利益の見込については、各事業の法人税等を反映しております。期初のカスタムAIソリューション事業の単体見込からの主な下振れの要因は、上記利益の縮減によるものです。

※本業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる可能性がございます。

以 上